

読書記録カード

()組 ()番 氏名 ()

本を読み、感じたことや考えたことを記録しよう。冊数は指定しませんが、最低1冊は読むこと。

読んだ日	タイトル	著者	出版社	読書メモ（心に残った台詞・文章・場面、考えしたこと等）
/				
/				
/				
/				
/				

「家に読みたい本がない！こんな状況だから図書館や書店にも行けない……。」

→「青空文庫」で検索。作者没後50年を経て著作権の消滅した作品や、著作権者の許可を得た作品をネット上で読むことができます。様々なスマートフォンアプリも出ていますのでチェックしてみてください。（「ソラリ」がおすすめ）



【裏面へ続く】

**副教材 「八訂版 読解をたいせつにする体系古典文法」（数研出版）
最初～36ページまで を読んでおくこと。**

ツバメが帰ってきて子育てに忙しい時期がやってきました。

今の世の中の困難も、ツバメが自然の営みに忠実なのと同じように、自然の営みの一つで、人もまたその自然の一部なのだと
いうことを思い出させてくれます。一方、人の知恵には限りがなく、この困難を克服する手立てを様々に生み出します。

ものごとには、私たちの耳目に見え、聞こえてくるような「はたらき」という面があります。また、その一方に、その「はたらき」をうみだす「しくみ」という面もあります。本来は、「はたらき」も「しくみ」も同じことの裏表のようなもので、一つ
のことのことなのでしょうが、我々人間はそのようにものごとを考えるものようです。

そして、どうしても、われわれは、「はたらき」にばかり目や耳がいってしまいがちです。「しくみ」を考えるのは、ややこ
しくて、面倒なのかもしれません。でも、「しくみ」を考え、知ることは、ものごとの全体像を知るにはとても大切なことに違
いありません。

本を読むことで、知らず知らずのうちに、「はたらき」と「しくみ」の深い関係を我々は知るようになります。古い言葉の
「しくみ」を知ることは、その「はたらき」と「しくみ」を知ることの有益性を我々に教えてくれます。

学ぶことは面倒な行いです。辛抱が必要です。他者との直接的な関わりが遠慮される今、本を通して他者との接点をもってみ
ましょう。慌てることはできません。ゆっくり学んでいきましょう。

仙台東高校 国語科（1学年担当）

